

あなたの安全・安心を冷蔵庫の中に

救急医療 情報キットを 活用してください

平成22年
8月2日(月)から
申請受付予定



災害時や救急時などで、話ができないような状況になった場合に備えて、「救急医療情報キット」利用事業が始まります。

救急医療情報キットとは？

高齢者や障がいがある方などの安全・安心を確保するために、かかりつけ医や持病などの医療情報や、緊急連絡先、健康保険証の写しなどの情報を専用の容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておきます。

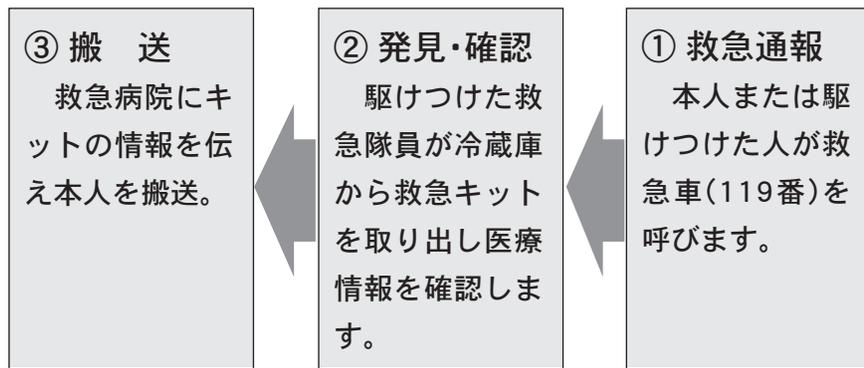
この容器の中の情報により、救急隊、病院が迅速に救急救命活動を行うことができるようになります。

なぜ冷蔵庫の中に？

かけつけた救急隊員は、すぐ救急医療情報キットを探し出す必要があります。ほとんどの家に冷蔵庫がありますので、キットがどこにあるかすぐにわかるために救急医療情報キットの保管場所は、冷蔵庫にしています。

なお、救急医療情報キットがあることを救急隊に知らせる目印として、冷蔵庫の扉と玄関ドア等の内側にステッカーを貼っておきます。

救急医療情報キット活用の流れ(例)



誰が対象なの？

六十五歳以上の方および障がいのある方です。お配りする専用容器は、世帯に一個になります。

申請は？

健康管理センターすこやか(健康福祉課)で申請を受付けます。

日本脳炎予防接種についてお知らせ

① 日本脳炎予防接種については、積極的勧奨を差し控えていましたが、新しい日本脳炎ワクチンができたため、第1期3歳児に対して22年4月から積極的勧奨を行うことになりました。対象年齢のお子さんは、接種を受けられますようお知らせします。

*接種方法：予防接種委託医療機関に予約をして接種を受けてください。

*接種に必要なもの：日本脳炎予防接種予診票・母子健康手帳

*接種料金：無料(公費負担)

② 積極的勧奨を控えたため、日本脳炎予防接種の第1期の定期接種の機会を逃した方や第2期(9歳以上13歳未満)の定期接種対象者については、接種の機会を確保するよう、国で検討が行われています。国の方針が決まり次第、広報等でお知らせします。

*問合せ先：南部町健康福祉課
保健師 電話 66-5524

*くわしくは、厚生労働省ホームページ 日本脳炎予防接種 Q&A を参照ください。